

- チーム名：チーム明治
- 企業：株式会社明治
- 学生：大阪市立大学大学院



- 園田学園女子大学
- 常磐大学
- 東海学院大学
- 奈良女子大学

- テーマ：朝食でたんぱく質+10g
- PRポイント：欠食が増え始める層へのアプローチ  
～朝食をもっと手軽に～

健康にアイデアを

meiji



- 松田 真保
- 土井 梨瑚
- 小野 美侑
- 岡本 実加梨
- 水谷 天咲

## 企業の気付き・学び

- WSを通じた感想：学生生活での朝食の工夫や、企業とは異なる視点で商品と結び付けたアイデア等、学生ならではの意見を聞く事ができ、非常に有益でした。
- きらりポイント：大学との連携（朝食提供）
- 事業に反映できるような気付き・学び：朝食欠食率が高い層（高校・大学生）ならではのSNSのアプローチ方法（若年層の利用が多いSNS活用、大学との連携など）、消費者目線での商品PKG提案など

### 1 土井 梨瑚

- 提言：食育推進を企業の視点から考える貴重な経験で、未来に向けた新たな視点が得られた。デジタルの可能性を感じ、今後さらに有効活用して持続可能な食育推進したい。
- 提案：推進する内容に、学校と企業の連携を加え、食育プログラムを充実させる。

### 2 松田 真保

- 提言：食育立案の下準備として、様々な世代・立場の方々の意見を聞く機会を設ける。
- 提案：①朝食に主菜または牛乳・乳製品を摂取する20代国民を増やす。②若い世代から、自ら考え・判断して健康的な生活習慣を実践できる国民を増やす。

情報発信 普及方法（SNS）	欠食が増え始める 層へのアプローチ	たんぱく質商品 の普及
認知度の向上	朝食でたんぱく質 +10g	朝食欠食率を減 らす
効果・必要性リ スクの理解	規則正しい生活習 慣	教材を増やす

### 3 岡本 実加梨

- 提言：社会人になったら本ワークショップと同じような企業の皆さんと食育の対象である学生と一緒に考えられる場を設け、食育を行いたい。
- 提案：小さな子でも積極的に参加出来る、農家の方との交流の場がもっと多くあると、農家の苦労や野菜の大事さなど知れていいのかなと思います。

### 4 小野 美侑

- 提言：より多くの人に企業が取り組んでいる食育について知ってもらうために、SNSを通じた取り組みを増やすと良い。
- 提案：第4次食育推進基本計画に記載の「食品表示の理解促進」の部分に、より一層力を入れると良い。

### 5 水谷 天咲

- 提言：全国各地の大学で、自社商品を低価格で販売する朝食イベントを開催する
- 提案：地域における食育の推進の1つとして、学生が学校以外で調理を経験できる機会提供の推進を掲げる

# 目標達成シート（マンダラチャート） Team：明治

ショート動画	インフルエンサーに紹介してもらう	SNS多種活用	大学と企業の共同セミナー	生協で対象商品を置いてもらう	食堂とのコラボ	自分に合った商品（プロテイン診断）	1食・1杯試せるサンプル配布	筋トレのためだけではない
HPに繋げる機会の提供	情報発信普及方法（SNS）	キャラクターとのコラボ	美容と朝食欠食に関する情報提供	<b>欠食が増え始める層へのアプローチ</b>	<b>低コストで実践できる方法と継続するための知識提供</b>	商品を用いたレシピコンテスト	たんぱく質商品の普及	学生ターゲットのキャンペーン
大々的な寄付活動	たんぱく質摂取量増加に取り組む企業の会	頭に残るCM・広告インパクトを残す	夜更かし飲み会の翌日対策	欠食に関する情報をSNS発信	高校生への食育授業	飽きずに続けられるバリエーション	パッケージでの表現工夫	新製品普及・発表イベント
他企業とのコラボでの普及	インフルエンサー・キャラクターとコラボ	クイズ形式で認知を上げていく	情報発信普及方法（SNS）	欠食が増え始める層へのアプローチ	たんぱく質商品の普及	購入しやすい手軽にとれる商品提供	朝活推進（自分で作る・いつもと違う）	<b>大学で100円朝食</b>
たんぱく質補助食品数を増やす	認知度の向上	キャラクター作成	認知度の向上	<b>朝食でたんぱく質 +10g</b>	朝食欠食率を減らす	朝食がもたらす美容効果	朝食欠食率を減らす	朝食がもたらす効果体験談紹介
消費者参加型商品開発	たんぱく質の日や企業活動を広めていく	セミナー参加者への普及	効果・必要性リスクの理解	規則正しい生活習慣	教材を増やす	まずは1品乳製品	男子学生インタビュー調査	朝食チャレンジで寄付ができる
健康被害の面からの必要性	朝食習慣の有無比較結果提示	たんぱく質の美容効果	早寝早起きハッシュタグでキャンペーン	良質な睡眠	適度な運動習慣	ゲーム感覚の教材	たんぱく質含有量早見表	SNS動画（YouTube）
三食摂取することの重要性	効果・必要性リスクの理解	商品パッケージでの普及	生活習慣が記録できるアプリ	規則正しい生活習慣	夜食・飲酒を適度に	人気漫画とコラボ	教材を増やす	食の栄養バランスチェック普及おすすめメニューを商品へ
SNS活用での普及（広告活用）	実際の摂取量と理想の摂取量を差を知る	将来にわたるリスクを伝える	主食主菜副菜がそろった食事の重要性普及	規則正しさの例、学習（自炊スキルなど）	フィードバックまでしてくれるアプリ	出前授業の内容に朝食についてをプラスしていく	ラインを利用して写真で栄養分析	バランスチェックアプリ化